地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが以来

2015.1. N_0 .

県立尼崎総合医療センター(仮称)

だより

院長新年挨拶

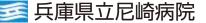
[各科紹介]

腎臟内科 歯科口腔外科

新病院に向けてリレーメッセージ













兵庫県立尼崎病院·塚口病院 院長 藤原 久義

統合病院 「兵庫県立尼崎総合医療センター(仮称)」開院!

今年は県立尼崎病院と県立塚口病院を統合した「兵庫県立尼崎総合医療センター(仮称)」の開院の年です。ヘリポートをはじめ、最新式の設備を持つ地上11階建の巨大な建造物が両病院のほぼ真ん中の尼崎市立産業高校跡地に姿を現しています。開院は同年7月の予定です。

◎移転開院の際のお願い!

2つの病院の統合・移転・開院は難事業です。現在、職員一同、心を一つにして、連日、統合・移転業務に忙殺されています。一方、移転の際には、前後1か月間、診療制限等が必要で、患者さん、医療機関の皆様等には多大なご迷惑をお掛けすることになります。誠に申し訳ありませんが、ご協力の程、何卒、よろしく、お願い申しあげます。

○両病院の輝かしい伝統を引き継ぎ、新たに発展させる!

兵庫県立尼崎病院は昭和61年に大物町に移転、病床数500、医師数約200名(研修医38名)、年間稼働率は93%、ロボット手術室等最新鋭の医療機器・設備を持つ近代的病院です。電子カルテは10年前、全国でも最も早い時期に導入、大学病院に準ずる高度医療を行っているII群のDPC病院でもあります。一方、兵庫県立塚口病院は昭和49年に誕生、特に、小児科・小児外科は医師数も28名と多く、成育医療、周産期医療・小児救急医療では文字通り阪神地域唯一の中核病院です。また、医療機関情報と患者情報共有化のための21世紀的試み「阪神医療福祉情報ネットワークh-Anshinむこねっと」でも医師会と共に中心的役割を担ってきました。

このように両病院は時代と共に変わる患者・医療者のニーズに答え、全国に先駆けて新しい課題にチャレンジし、 地域の皆様の厚い信頼に支えられ、高度・専門医療を担う基幹病院として発展してきました。今後もこの伝統を引き 継ぎ、さらに、発展させて行くつもりです。

◎統合病院一病院完結型医療から阪神地域完結型医療・介護へ一

統合病院は、尼崎市のみならず、人口約175万の阪神南・北地域全体を対象にした大規模なER型救命救急センター、総合周産期母子医療センター、小児救命救急センター、循環器センター、がんセンター、脳卒中センター、ハイブリット手術室等18手術室、2台のIMRT等を整備、医師数約300名、看護師数約1,000名、診療・教育に加えて、研究も重点課題とする我が国を代表する急性期医療・高度専門医療を担う"マグネットホスピタル"です。

私共は統合病院をこれまでの病院完結型医療から地域完結型医療・介護へという国の医療計画「地域包括型ケアシステム」のモデルケースになるように、皆様方と共に、頑張ります。統合新病院は皆さんの期待に応えることのできる病院になると確信しています。よろしくお願い致します。



急性期から慢性期管理まで、あらゆる腎臓病診療に対応します!

腎臓内科では、腎臓病の早期から進行期に至るまであらゆる段階に対応できる体制を整えており、患者さまにとって最善の治療を継続して提供するよう心がけています。また新病院は高度急性期病院であり、各種の急性血液浄化療法を必要とする症例がこれまで以上に増加すると予想されますが、各科と密接な連携を取りながら積極的に集学的治療に取り組んでまいります。

県立尼崎病院 腎臓内科科長

竹岡 浩也

日本内科学会総合専門医·指導医

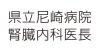
日本腎臓学会専門医·指導医·学術評議員

日本透析医学会専門医·指導医

日本老年内科専門医·指導医

日本高血圧学会指導医

京都大学臨床教授、徳島大学臨床教授



田中 麻理

日本内科学会総合専門医·指導医 日本腎臓学会専門医·指導医 日本透析医学会専門医·指導医

腎臓内科の紹介

検尿異常、腎障害の原因精査・治療

可能であれば腎生検を行い、正確な診断に基づく最適な治療を行っています。

慢性腎臓病(CKD)の管理

CKDのステージに即した丁寧な指導・治療によりCKD進行抑制を目指します。

透析アクセスの作成・修復

シャント手術、シャントPTA、腹膜透析カテーテル挿入・抜去を行っています。

透析療法の導入・管理

血液透析、腹膜透析を行っています。アクセスの手術を科内で行うため、導入がスムーズでありトラブル時も迅速に対処できます。

全身疾患に対する各種血液浄化療法

血漿交換療法をはじめとしてあらゆる血液浄化療法に対応可能です。

対象となる疾患

- (1)CKD
- ② 糸球体腎炎
- ③ネフローゼ症候群
- ④全身疾患に伴う腎臓病(糖尿病、高血圧など)
- ⑤急性腎障害
- ⑥末期腎不全

県立塚口病院 腎臓内科医長

池田 昌樹

日本内科学会認定医

日本腎臓学会専門医

日本透析医学会専門医



後列左から : 文原医師、熊原医師、岩成医師、三木医師 前列左から : 大西医師、田中医師、竹岡医師、辻本医師

いつでも地域のニーズに応える 口腔外科診療

歯科口腔外科は、平成25年4月から塚口病院でプレオープンしていますが、平成27年7月1日の新病院開院と共にグラン ドオープン致します。充実した設備とスタッフが整いますので、月、水、金の全身・局所麻酔手術が可能になり、また、口腔外科 領域の救急患者さんには、毎日24時間対応致します。病診連携の一端としての周術期口腔機能管理では、各がん診療科や 歯科口腔外科と地域の医療施設との連携をより一層深めていきます。

歯科口腔外科の特徴

- ・顎骨の腫瘍や炎症では、随時撮影可能なコンビームCT 撮影にて迅速な診断と治療を行います。顎関節症では、 MRI撮影も含めた総合的診断を行い、手術では開発中 の低侵襲顎関節鏡を併用します。そのため早期に退院 が可能になります。
- ・口腔衛生部門を設けています。歯科衛生士による専門 的口腔衛生管理での有病者の口腔ケアや、周術期口腔 機能管理では、がん患者さんの手術前後の口腔のトラ ブルを軽減するために、一貫した口腔管理を行います。

対象とする手術

顎顔而外傷

上下顎骨折および口腔内軟組織裂傷などの緊急処置。

顎変形症

従来の手術法に加えて開発中の新しい手術法を選択。 小顎症では、口腔内外の固定装置を選択して骨延長を実施。

口腔腫瘍

口腔領域の腫瘍手術と術後の顎再建手術を他科との連携 により包括的に対応。

顎関節症

低侵襲の顎関節鏡を併用した手術を実施。

口腔心身症の患者さんや小児の口腔疾患

全身麻酔下での手術や歯科治療も可能。





県立塚口病院 歯科口腔外科 科長 藤村 和磨

日本口腔外科学会専門医·指導医

日本顎関節学会専門医·指導医

日本小児口腔外科学会指導医

日本がん治療認定機構暫定教育医(歯科口腔外科)

厚生労働省歯科医師臨床研修指導医

京都大学大学院医学研究科非常勤講師

後列左から: 奥田医師、多賀医師、藤村医師 前列左から: 後藤歯科衛生士、染川歯科衛生士、野村歯科衛生士



新病院に向けて

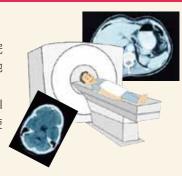
リレーメッセージ

767

最先端の放射線機器を用いて、診断から治療までのサポートを提供

▶平成27年7月の開院に向けて…

- ・放射線部門では、高度専門医療に迅速かつ的確に対応できるように、尼<mark>崎病院・塚口病院</mark>での相互研修や関連施設で研修を行なうとともに、最新の画像診断機<mark>器等を整備し、他</mark>部門と一体となったチーム医療体制の確立を目指しています。
- ・放射線技師の専門性と各種装置を駆使しながら、一般X線撮影部門、CT検査部門、MRI 検査部門、カテーテル等を使用し検査・治療を行なう血管内治療部門、放射性医薬品を使 用した核医学検査、悪性腫瘍を対象とした放射線治療など、部門制を強化しています。





県立尼崎病院·塚口病院 放射線技師長 竹中 達明

▶統合新病院では…

- ·24時間365日、安心で安全な質の高い医療を提供できるように、確実な始業終業点検と専門業者の定期点検を実施し、X線機器の性能維持や安全確保に努力します。
- ·PET-CTや強度変調放射線治療が可能な最新の装置を設置し、患者さまからのご信頼の応えられるよう専門認定技師の積極的な取得と資格の更新に努めます。
- ・新設される救命救急センターでは、全身を15秒以内で撮像可能な最新CT装置が 新規導入され、X線による被ばくにも配慮した低線量撮影が可能となります。

次号予告

次号は、「県立尼崎病院 臨床検査・放射線部 検査技師長 石橋万亀朗 と 県立塚口病院 臨床検査・放射線部 検査技師長 林隆雄」からのメッセージです。

建 築 現 場 か ら お 知 ら せ []

今年7月の開院にむけて、 工事も最終段階まで進んできました!

外装工事も終わり、今、内装仕上げ工事と外構工事にとりかかっています(12月現在)。

内部はまだ出来上がっていないところもありますが、急ピッチで工事が進められており、少しずつ病院らしい建物になってきています。

この号が発行される頃には、建築工事はすべて完了し、諸検 査の真最中のことと思います。





兵庫県立尼崎総合医療センター(仮称) Facebookページを開設しています。

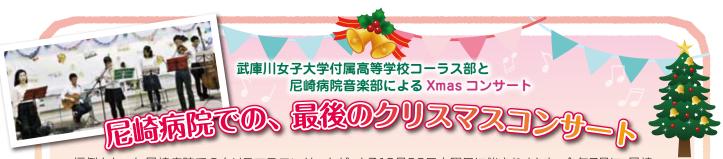
兵庫県立尼崎総合医療センター フェイスブック

検索









恒例となった尼崎病院でのクリスマスコンサートが、さる12月20日土曜日に催されました。今年7月に、尼崎・ 塚口病院の統合新病院(県立尼崎総合医療センター(仮称))の移転を控え、尼崎病院で開催されるコンサート は、今回で最後です。演者はもちろん、裏方スタッフも気合を入れて準備しました。

今回のクリスマスコンサートも、毎年好評の、"尼崎病院のスタッフで結成された音楽部による楽器演奏"&"武庫川 女子大学付属高等学校コーラス部による合唱"の2部構成でお送りしました。

- ▶ 第1部は、尼崎病院音楽部によって、「クリスマスメドレー」、「Over The Rainbow」、アナと雪の女王の「Let it go | が演奏されました。忙しい日々の合間に練習されていたそうですが、なかなか本格的で、先生たちの違う一面が 見れて、うれしいやら恥ずかしいやら…(笑)。患者さんからは、「感激した! |、「たいしたもんだ! |とのお声がありまし たよ。新病院でも、引っ張りだこになる予感がしますね(*^ ^*)。
- ◆ 第2部は、武庫川女子大学付属高等学校コーラス部の学生さんたちが、美しく、力強い歌声を聞かせてくれまし た。ツリーやトナカイの衣装を着て、かわいい格好の女の子たちからは、想像できないくらいの声量と堂々とした風 格に圧巻です。「アナと雪の女王メドレー」では、アナとエルサが登場して、歌にあわせて踊って、見に来ていた子供た ちも一緒になって歌っていました。後半は、「四季メドレー(花)(もみじ)(海)(雪)」、「ふるさと」、

「花は咲く」「川の流れのように」など懐かしい楽曲が続き、学生さんが患者さん のそばに寄り添い歌う演出もあり、涙する患者さんもおられ、感動的なまま終了 となりました。

来年のクリスマスは、新病院で迎えます。さらにパワーアップしたコンサートが



新年あけましておめでとうございます。いよいよ新病院開院を7月に 控え、東難波町2丁目(旧市立尼崎産業高校跡地)に屋上へリポートを

備えた地上11階地下1階、延床面積は現尼崎病院の約2倍という巨大な建築物が完成間近です。立派 な器は出来ました。正月の生け花のように、院長以下私たち両病院職員はその器に負けない立派な花 を咲かせるべく、一丸となって頑張ってまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



(尼崎病院 N.H)



三 兵庫県立尼崎病院

〒660-0828 兵庫県尼崎市東大物町1丁目1番1号 TEL 06-6482-1521(代表) FAX 06-6482-7430 http://www.amahosp.amagasaki.hyogo.jp/

兵庫県立尼崎病院



三 兵庫県立塚口病院

〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町6丁目8番17号 TEL 06-6429-5321(代表) FAX 06-6422-7405 http://www.tsukaguchi-hospital.net/index.html

兵庫県立塚口病院